

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 11月 27日 (日)

礼拝メッセージノート

「 3つの命令～教会への神の御心 」

| 1テサロニケ講解⑨ テサロニケ人への手紙第一 5 : 16～18 小野寺 望 牧

【 テサロニケ人への手紙第一 5章 】

- 16 いつも喜んでいなさい。
- 17 絶えず祈りなさい。
- 18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

(4ページへ続く)

◆ はじめに

- 1.前回の復習：テサロニケ教会への信仰生活の指導、愛を正しく用い続ける
- 2.個々のクリスチャン生活、また教会に不可欠な3つの命令

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 永遠のゴールを見続ける喜び

*このメッセージは、信仰生活に不可欠な3つの命令から、自らを省みるためのものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

I いつも喜んでいなさい（16節）

1.喜びの根底にあるもの

- (1) キリストにある喜び、御霊による喜び
 - ①古い自分はキリストと共に十字架につけられた、つまり新生の確信
 - ②キリストと共にある一体化の真理
 - ③神の御怒り（主の日）を決して受けることがない、という確信。



2.「御霊の実」の一つ（ガラ5：22）

- (1) 愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、善意、誠実、柔和、自制
- (2) 救われて、聖霊のバプテスマを受けた者に付与される実。
- (3) 賜物とは区別され、大小はあれどすべての聖徒に付与される性質。
- (4) 御霊の導きに従う人々は、多くの実をもたらす。
 - ①参照：「主はぶどうの木」というたとえ
 - ②聖霊の働き（恵み）がクリスチャン生活の実践に不可欠である。

3.喜びについて～二つの性質

- (1) この世における喜び ～聖書は「古い性質※に基づく喜び」とする。

※生まれつき持っている自己中心的な性質

 - ①名声や、富を得る時の喜び ⇨永遠に残るものの尊さ ヨハ6：27
 - ②往々に、「肉の欲望を満足させたい」という願い。
 - (2) 新しい性質に伴う喜び ～新約聖書が命じる喜びはこちら。
 - ①「新しい性質」とは、新生した者のみに宿る、神の子としての性質。

*クリスチャンに命じられたこの喜びは、「罪赦された」という確信から来る。

*勝利の信仰生活に欠かせない要素

*ピリピ書のテーマも「喜び」であり、パウロの確信から来る喜び。ピリ4：4
 - ②永遠の喜び *その喜びは一時的なものではなく、いつまでも続くものである。
- 4.総括：聖徒の喜びは、以上の特徴を持つので、「いつも喜ぶ」ように命じる。

II たえず祈りなさい（17節）

1.神への信頼

2022.11.27

(1) これは24時間ひざまずいていたり、手を挙げたりして祈ることではない。

*それではこの世界、社会の一員として信者は生きることができない。

(2) 常に神に信頼する姿勢を教えたものである。

2.神の助けを求める

(1) どのような奉仕も、祈りなくして成り立たない。コロ4：2

(2) 私たちが事を起こすのではなく、主がそれを成される。

①「主の助けをいつも求める」という習慣が育つように・・・

②私たちは神の恵み無くして、主の働きは何一つできない。

③むしろ神を「父」と親しく呼び、キリストに語ることは神の子の特権である。

*神の子とされた、共同相続人という絶えることのない確信に基づく。

3.霊の目を開き、御心が成ることを求めて祈る。

(1) 神の御心の成就を求めることが、祈りのゴールである。

(2) 神の御心を理解し、今がどうであれ、神の勝利を信頼する必要がある。

4.患難・試練への備え

(1) 絶えず祈る習慣が育つなら、患難に際し、祈りの力を体験することができる。

(2) 喜びと祈りは共に、信仰の勝利を得るための備えである。ピリ1：4

III すべてのことに感謝しなさい（18節）

1.感謝の対象

(1) 不幸や悲劇をも感謝せよ、という意味ではない。

(2) 感謝する対象は、神である。

2.感謝の動機

(1) 私たちはどのような状況が襲っても、常に神に感謝できる。

①試練の理由：苦難や迫害、試練を通して、神は聖徒や教会を教え育む。

*神は完全な方であり、その目的に従い、程度も相応しく与え、益としてくださる。

②神は苦難に対する逃れの道を用意してくださる：究極的には患難からの救い。

(2) 悲劇そのものには感謝できなくても、共にいてくださる神、患難から救い出し
てくださる神に感謝できる。

3.永遠なる神のゆえに：最後は勝利するので、逆境の時も絶えず神に感謝できる。

◆まとめ：永遠のゴールを見続ける喜び

1.旧約聖書の聖徒たちは、そのようにしてきた：神の約束への信頼

*例 ワールドカップサッカー日本代表：勝利に向けての努力とドイツ戦の快挙

①神様が用意される歴史のゴールは、比較にならない圧倒的な素晴らしさ。

②変化しなくなるものでなく、変わらないものにこそ、真の価値がある。

2.その喜びは、聖霊によってもたらされる実である。

①喜びを与えてくださる聖霊の内住を認める。②実を育てる歩みを

2022.11.27